

すずき直道後援会だより

2015年2月28日号
すずき直道後援会 発行
会長 源藤 世榮子
発行責任者 西村 常男
〒068-0531
夕張市清水沢1丁目90
TEL/FAX0123-57-7681



盛会だった、事務所開き 後援会地区幹事、等、160名参加

2月12日(木)に清水沢研修センターに於いて「すずき直道事務所開き」が行われ160名の皆様にご出席をいただき、盛況に終了することができましたこと心より感謝申し上げます。

当日は若狭副会長の開会のことばの後、源藤後援会長より29歳の無職、無収入の若者が「市長選挙に挑戦するので応援してほしい」と私のもとに訪ねて来てから4年

の月日が流れました。当時、誰も知らなかった若者が足の爪を剥ぎ落ちるほど市内を歩き、皆様に支えられて激戦を勝利しました。この4年間で財政再生団体という暗い暗いトンネルの中、「すずき直道」夕張市長は小さな希望の光として私たちの心の中にあります。

この小さな希望の光を現実のものとするため、いつまでもこれからも走り続けるため、今後とも皆様の変わらぬご支援をお願いします。と感謝とご支援のお願いをしました。その後、来賓の稲津久衆議院議員よりメッセージ、村木中道議会議員をはじめ多くのご来賓の皆様より激励のことばをいただきました。

その後「すずき直道」は皆様の激励、ご支援に涙しながら、2期目へ向けて力強く決意表明をいたしました。そして花束、千羽鶴の贈呈が行われ、最後に澤田商工会議所会頭より勝利に向けてガンバロウ三唱を行いました。

これからも一生懸命に走り続けて参ります。皆様の変わらぬ、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2期目の決意を語るすずき直道市長

すずき直道の決意表明（要旨）

4年前の4月17日、告示の日、この清水沢に事務所を構えて、雪が降りしきるなか、第一声で皆さまにお話したことは、財政破綻した夕張市、ずっと言われてきたこのまちの暗いイメージを皆様と共に変えます！と訴えました。

夕張が財政破綻して、それこそ私の名前も何も知らない中で、多くの方々と寒い冬の中の選挙、手と手を握りあいながら、互いに冷たい手を、寒いね、冷たいね、でもがんばろうね、と言いながらこのまちを歩いて、皆様とお話をして、その思いに応えるべき、イメージを変えるために、皆様と共に歩んできました。

一年目は三者協議の設置。二年目は住宅、医療、交通といった柱となるべき政策。三年目は将来を担う子育て環境の充実。四年目任期総括の年。夕張に希望をつくる思いをもってこの四年間歩みを進めてきました。この夕張は四年間で何が変わったのでしょうか。この間で財政再生団体の脱却を成し遂げることができなかったことに熟知たる思いがあります。

ただ一方で昨年10月、10年ぶりにできた歩団地は国交大臣表彰をいただきました。

また5月には、人口の減少、超高齢化の中で持続可能な町づくりに公募し、内閣府の地域活性化モデルケースに選ばれることができさらに今年1月には、安倍総理よりコンパクト



すずき直道夫妻に千羽鶴と花束が贈られました。

トシティ、炭層メタンガスの活用が地域再生計画の第一号認定として総理官邸でいただきました。このことは私が何をしたわけではありません。多くの市民の皆様が歯を食いしばって、破綻した8年間でむしゃらに頑張ってきた、その努力が国に認められたと強く感じました。

それは、さんざん言われてきたこのまちの暗いイメージに対した、小さな一歩かもしれない。しかし、この四年間、多くの方々が自分のことのように思うようになって来て、少しだけど、イメージが変わって来ていると思えます。

この小さな希望の光をより明るく確かなものに、そして今まで進めてきた政策をこの方向性、道筋をより確かなものにしていくために、私にはまだまだいたらないところがありますが、この四年間実直に進めてきた事を、これからより確実にやらせていただくことと、2期目はたえず挑戦していく、そういった政策をお示していきます。

全力で皆様のご期待にこたえられるよう頑張りたいと思います。

皆様の叱咤激励、ご支援をよろしくお願いたします。



1月22日 総理官邸にて、夕張市の地域再生計画が認定され、その授与式が行われました。